

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	342	施策	健康で安全な生活の確保
管理事業	感染症対策事業	所管部局	健康医療部

1	所管 室課	地域保健課	事業名	結核予防事業（感染症対策）			
事業概要							
結核患者への公費支援や療養指導、接触者への健康診断を実施するとともに、結核予防に関する啓発を行い、結核のまん延防止を図る。							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
1 結核患者への個別支援 （１）結核患者への服薬支援（DOTS）件数（延べ） 結核患者が確実に服薬治療を完遂できるよう訪問指導を実施。 令和4年度…260件、令和5年度…211件、令和6年度…238件 （２）結核患者への管理検診の実施件数 治療終了患者に対し病状把握を行うための検診を実施。 令和4年度…137件、令和5年度…122件、令和6年度…104件 （３）接触者への健康診断の実施件数 結核患者の接触者に対してエックス線検査等の健康診断を実施。 令和4年度…82件、令和5年度…175件、令和6年度…127件 （４）結核患者への医療費公費申請件数 令和4年度…通院58件入院41件、令和5年度…通院60件入院54件 令和6年度…通院61件入院24件			決算額 （千円）	16,212	16,927	16,606	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（％）	68.7	66.3	72.8	☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
2 結核予防に関する取組 （１）結核対策医療機関講習会の参加者数 令和4年度…65人、令和5年度…82人、令和6年度…93人 （２）介護事業所等、市内関係機関へのリーフレット配付 令和4年度…85施設、令和5年度…94施設、令和6年度…94施設 （３）結核患者治療成績評価検討会議の開催 令和4年度…4回、令和5年度…4回、令和6年度…4回			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
			結核患者はその約7割が後期高齢者で福祉サービス利用中の方も多く、生活状況に合わせた服薬支援や接触者への健康診断等において、関係者の理解と協力を得つつ関係機関と密接な連携を図り実施することが重要である。また、留学生や技能実習生等、外国生まれの結核患者の増加が懸念されることや、結核患者減少に伴い治療経験のある医療機関が減少していることから、国の指針に基づき引き続き結核対策の技術的拠点としての役割を担っていく。			継続 結核のまん延防止に向け、医療機関等、関係機関と連携し、引き続き総合的な対策を推進する。	

2	所管 室課	地域保健課	事業名	感染症予防事業			
事業概要							
感染症法に基づき、行政対応が必要な感染症に対する様々取組を行うことにより、感染症の予防及びそのまん延防止を図る。（結核を除く）							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
1 性感染症対策 (1) HIV等性感染症検査 希望者を対象としたHIV、梅毒、クラミジアの検査 令和4年度 117件、令和5年度 131件、令和6年度 203件 (2) 性感染症に関する予防啓発 ホームページ等での啓発や市内5大学等関係機関と連携した取組 令和4年度 7回、令和5年度 10回、令和6年度 8回			決算額 (千円)	1,452,283	275,427	5,886	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	23.1	28.4	54.3	☐ 有効性 ■ 効率性
2 感染症予防 (1) 発生届の受理件数 ※結核、新型コロナウイルス感染症除く 令和4年度 114件、令和5年度 95件、令和6年度 108件 (2) 疫学調査等対応件数 ※結核、新型コロナウイルス感染症除く 令和4年度 20件、令和5年度 34件、令和6年度 33件 (3) 集団感染対策 集団感染が発生した社会福祉施設等への相談対応件数 令和4年度 693件、令和5年度 172件、令和6年度 97件			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			感染症法の改正に伴い、保健所設置市である本市においても、次の感染症危機に備えるため令和6年4月に感染症予防計画を策定した。新興感染症発生時に迅速かつ適切に必要な対応ができるよう関係機関と連携し訓練や研修等を実施し、平時からの備えを確実に推進する。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	若年層対策も含め、引き続き、性感染症予防に関する効果的な啓発を強化する。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	342	施策	健康で安全な生活の確保
管理事業	狂犬病予防・動物愛護事業	所管部局	健康医療部

1	所管 室課	衛生管理課	事業名	狂犬病予防・動物愛護事業			
事業概要							
狂犬病予防、所有者のいない猫避妊・去勢等手術補助、動物愛護							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
狂犬病予防法に基づく飼犬登録 新規登録 1,548件 狂犬病予防注射済票交付 10,145件 登録事項変更届 死亡 1,080件 転出 792件 転入 899件			決算額 (千円)	20,392	20,186	21,237	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
所有者のいない猫避妊・去勢等手術補助 156件			一般財源 の 比率(%)	53.7	88.3	89.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
地域猫活動支援事業における団体登録 15団体			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
地域猫活動補助金の交付 19件							
動物愛護相談(苦情)件数 犬 138件(71件) 猫 395件(100件) その他 53件(6件)			人と動物のより良い共生社会の実現に向け、継続的な啓発活動を行いながら、吹田市開業獣医師会や企業などと協働し、事業に取り組んでいく必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
犬猫の収容処分件数 収容 犬6件 猫27件 返還 犬2件 猫0件 譲渡 犬2件 猫19件 処分 犬1件 猫4件						継続	
令和5年6月からマイクロチップを装着した犬については飼い主がその情報を指定登録機関に登録する狂犬病予防法の特例制度に参加したことにより、犬鑑札による登録件数が減少(1,548件中90件)							

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	342	施策	健康で安全な生活の確保
管理事業	生活衛生事業	所管部局	健康医療部

1	所管 室課	衛生管理課			事業名	生活衛生事業				
事業概要										
食品衛生、環境衛生、専用水道・簡易専用水道等衛生管理指導										
活動実績					年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
衛生検査実施数					決算額 (千円)	12, 673	13, 843	13, 794	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 ■ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性	
食品衛生関係	令和4年度 394件	令和5年度 331件	令和6年度 376件							
環境衛生関係	93件	120件	126件		一般財源 の 比率(%)	12.2	22.4	36.0		
施設立入検査実施数					事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容	
食品衛生関係	令和4年度 1,453件	令和5年度 1,327件	令和6年度 1,116件		食品衛生・環境衛生に関する苦情・相 談の増加傾向が続いているため、衛生検 査や施設の立入検査を効率的に行い、施 設の適正な衛生管理の確保のため、事業 者等にわかりやすくて確な指導・助言を 行う必要がある。 また、集団食中毒やレジオネラ症患者 発生等の事故対応に係る検査費用の確保 が必要となる。					
環境衛生関係	180件	229件	341件							
									継続	

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	342	施策	健康で安全な生活の確保
管理事業	精神保健事業	所管部局	健康医療部

1	所管 室課	地域保健課	事業名	精神保健事業			
事業概要							
地域自殺対策、精神障がい者支援							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
1 地域精神保健の推進 (1)こころの健康相談(電話、面接、訪問等) 令和4年度…3,576件、令和5年度…3,822件、令和6年度…3,639件 (2)措置診察立ち合い業務(措置入院となった数) 令和4年度…6件、令和5年度…4件、令和6年度…4件 (3)精神科病院実地指導 令和4年度…3件、令和5年度…2件、令和6年度…3件 (4)依存症対策 予防週間の啓発(ロビー展示や市報、SNS等)、大学生を対象にしたアルコール教室、関係機関向け研修等実施。 2 地域自殺対策 (1)自殺対策推進庁内会議及び懇談会、関係機関連絡会議 令和4年度…5回、令和5年度…9回、令和6年度…3回 (2)関係機関連絡会議(大学、高校、警察・消防等) 令和4年度…1回、令和5年度…3回、令和6年度…3回 (3)ゲートキーパー研修等参加者数 令和4年度…363人、令和5年度…127人、令和6年度…525人 (4)普及啓発 予防週間・月間の啓発(展示・市報等)、こころの体温計の運用 (5)自殺未遂者相談支援事業 令和4年度…431件、令和5年度…389件、令和6年度…375件			決算額 (千円)	4,033	7,174	3,845	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	93.3	73.9	92.8	☐ 有効性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☒ 効率性	
			関係者が連携・協働して自殺対策を総合的に推進しているが、本市の自殺者数はコロナ禍以前に比べ、高い水準で推移している。 自殺者数の年代別構成比では、大阪府や全国に比べ、20歳未満・20歳代の割合が高いこと、勤労世代の割合が高いことから、子供・若者への支援や勤労世代への支援に重点的に取り組んでいる。			☐ 公平性	
						☐ 持続可能性	
			今後の実施計画 の方向性・内容			継続 子供に係る自殺対策を推進するため、自殺対策基本法に基づき、子供・若者の自殺対策に取り組む関係機関との連携をさらに推進していく。	

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			一般財源 の 比率(%)				
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	342	施策	健康で安全な生活の確保
管理事業	難病支援事業	所管部局	健康医療部

1	所管 室課	地域保健課	事業名	難病支援事業		
事業概要						
難病患者地域支援対策推進事業 難病患者の療養上の不安解消を図るとともに、在宅療養に関する支援を実施する。						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1) 訪問相談・指導事業 要支援難病患者やその家族が抱える日常生活上及び療養上の悩みに対する相談や在宅療養に必要な医学的指導等を行うため、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等による、訪問相談・指導を実施。 令和4年度…8件、令和5年度…5件、令和6年度…6件	(2) 指定難病に係る医療給付新規申請者への相談 難病患者・家族に対し、療養に関する相談や不安軽減をはかるため、医療給付新規申請時に保健師による面接・電話を実施。 令和4年度…637人、令和5年度…646人、令和6年度…696人	決算額 (千円)	418	466	511	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		一般財源 の 比率(%)	43.1	61.2	50.0	
(3) 難病に関する講演会 難病患者・家族に対し、疾患の治療や生活に関する正しい知識を得ることで、不安軽減や療養生活に活かせるよう専門医等による講演会を実施。 令和4年度…2回、令和5年度…2回、令和6年度…2回	(4) 就労相談会 難病患者への就労に関する情報提供や、仕事を続けられるよう相談助言を行うため、ハローワーク専門援助部門職員による働き方相談を実施。 令和4年度…10件、令和5年度…10件、令和6年度…9件 (吹田市民病院での実施件数は除く)	事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		国の難病対策制度はあるものの、希少な疾患であり外見上分かりづらい症状や、個人により症状の出方や進行が異なることも多く、職場等社会的な理解はまだ十分に進んでいるとは言えない。すべての難病患者が安心して暮らせる環境づくりのため、患者、家族への支援とともに、市民や関係機関等に広く難病の理解を進めるための啓発を行うことが必要である。令和6年度は患者・家族、市民向けに啓発動画を作成したが、どのような手法が効果的かも踏まえて、実施していく予定である。				継続 より多くの市民に周知啓発を行うため、ホームページ他SNS、更新申請書類郵送時のチラシの同封等の機会も活用する。

	所管 室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■
		一般財源 の 比率(%)				☐ 市民ニーズ、社会的役割
						☐ 有効性
						☐ 効率性
						☐ 公平性
事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 持続可能性		
				今後の実施計画 の方向性・内容		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名